

省エネ研修会Vol.5開催



7月30日（金）ラズヴィル都賀山にて会員37名、行政3名計40名の参加を得て、H26年度の省エネ研修会を開催しました。

例年12月又は1月に開催していましたが、本年は原発稼働ゼロの年になり、より一層省エネが求められる時期になると想定し、7月に開催しました。

今回は、会員企業の日立ツール（株）様のご紹介で、（株）日立産機システム様のご協力を得て実施しました。

今回のテーマは、各企業の最も身近な装置の一つである「コンプレッサー」を取り上げ、

1. 「コンプレッサーの省エネと保全」を（株）日立産機システムの森本様に、
2. 「戦略的な省エネ補助金の活用方法」を同じく（株）日立産機システムの柏田幸信様にご講演いただきました。

1. 「コンプレッサーの省エネと保全」



同社のコンプレッサーメーカーとしての同社の豊富な経験をベースに、一般企業（製造部門）の電力消費の約20～25%を占めるコンプレッサーの省エネについて様々な事例を交えて解説していただきました。

エアシリンダーやバルブ、フィルター等の「空圧機器」の適正選定による圧力損失ダウンによる省エネ、配管のサイズ見直しやループ化による圧力損失の減少対策、配管の漏れ防止など理論と実例を紹介していただきました。また、圧縮機本体の省エネとして、インバーター化や多段圧縮、台数制御運転、レシーバータンクの効用や吐出運転圧ダウンによる省エネ等に加え空圧ラインの日常的な点検のポイントや空圧ラインの省エネチェックリストの紹介等理解しやすい表現でわかりやすくご講演いただきました。

2. 「戦略的な省エネ補助金の活用方法」



さまざまな公的補助事業の紹介から始まり、同社が実施した具体的な補助金活用事例を数多くご講演いただきました。

中でも、補助金活用のための申請については、一度であきらめず次年度でも再提出することで採用確率がアップした事例や補助金制度を利用してシステムは日立産機システムさん、照明機器はP社さん、空調機器はD社さん等のコラボシステムを数多く実施されている事例などは印象に残るものでした。

明機器はP社さん、空調機器はD社さん等のコラボシステムを数多く実施されている事例などは印象に残るものでした。



湖南・甲賀環境協会 堀田会長挨拶



平木研修部会長進行



ご協力頂きました、(株)日立産機システム、日立アプライアンス社の皆様 有り難うございました。